

令和2年度 第9回 政策決定会議 会議録②

◆開催日時:令和2年 10 月 20 日(火) 10:30~10:55

◆開催場所:市長公室

◆出席委員:永野市長、堤副市長、大下教育長

◆審議事項

・岸和田市立社会体育施設再編基本方針について……………スポーツ振興課⇒承認

◆審議概要

『岸和田市立社会体育施設再編基本方針について』

〈説 明 者〉牟田生涯学習部長、庄司スポーツ推進課長、田中管理担当主幹

◎説明者から、案件及び政策調整会議における議論の内容を説明し、政策調整会議にて本件一部修正のうえ承認された旨、報告。

※案件内容は付議依頼書に基づき説明。政策調整会議における議論内容は、以下のとおり。

【政策調整会議における議論内容】

- ① 岸和田市公共施設最適化計画との関連性や人口推計のグラフなど、「岸和田市立公民館及び青少年会館再編基本方針」の内容と文言等を統一すること。
- ② 今後のスケジュールについて、政策決定会議にて承認後、公共施設庁内検討委員会への報告及び議会説明を行い、11 月1日からパブリックコメントを実施。12 月の文教民生常任委員会にて報告、1月から市民説明会を行う予定であること。

◎報告後、質疑応答

〈総合政策部長〉方針案8ページの市民プールの内容について、「民営委託」という記載があるが、「民間委託」とするのか文言の整理を行うこと。

〈教 育 長〉学校の水泳授業について、今年度試行実施をし、その成果を踏まえて今後本格展開を検討することとしていたが、新型コロナウイルスの影響で全ての水泳授業が中止となった。現在の市民プールの実態を見ると、このまま水泳授業を続けるのは困難であるため、方針案には推進していくと明文化している。

〈市 長〉ただ、試行実施は来年度行っていく必要はある。

〈教 育 長〉心技館等個別の施設についてはまた相談する。歴史のあるような施設については、機能は移しても何らかの形で残すのか、機能そのものを残すのか。特に心技館は耐震性が低いため危険な状況ではあるのでそのあたりも踏まえ検討が必要である。

〈堤 副 市 長〉魅力創造部が進めている岸和田城周辺整備と合わせて検討する必要がある。

〈市 長〉スポーツ施設としてだけでなく、観光など総合的な見直しができるれば良い。

〈生涯学習部長〉文化財保護の面にも配慮していかなければいけない。

〈総合政策部長〉本案件について、原案どおり承認してよろしいか。

【異議なし】

⇒本件を、原案のとおり承認する。

令和2年9月 28 日

政策調整会議付議依頼書

依頼者名 生涯学習部長

下記事項について、効果的かつ効率的な市政運営実施のための会議の設置に関する規程第 14 条の規定に基づき、下記のとおり付議を依頼します。

記

付議事項名	岸和田市社会体育施設再編基本方針について
付議の目的 (ポイントを絞り込んで、簡潔に記載すること。)	今後の社会体育施設の整備、維持管理及び運営を計画的、効率的に実施することにより、市の持続的な発展と豊かな市民生活の確保に資することを目的とし、再編基本方針の策定を行う。
説明者	スポーツ振興課 庄司課長
	田中管理担当主幹
付議事項の概要	様式別紙に記載(必ず別紙様式をご提出ください。)

別紙

付議会議	令和2年度 第9回会議
付議事項	岸和田市立社会体育施設再編基本方針について

★取組の目的

対象	市民
どのような状態を目指す	今後の社会体育施設の整備、維持管理及び運営を計画的、効率的に実施することにより、市の持続的な発展と豊かな市民生活の確保に資すること。

★総合計画上の位置付け

101010202	基本目標	I－1 生きがいを創造する
↑ここにコードを入力 (コードは「総計体系」を参照)	達成された姿	(1)生涯にわたって能力を伸ばすことができる
	目指す成果	②スポーツを楽しむ市民が増えている
	行政の役割	イ 安全に楽しくスポーツができる環境を整える

★現状と課題

人口減少や少子高齢化の進展により、施設に求められるニーズや役割が大きく変化する中、将来の適切な施設のあり方について見直しをする必要があります。
また、現在、本市には社会体育施設が32施設ありますが、その78%にあたる25施設が築40年以上経過しており、施設の老朽化が進行しています。特に、体育館、市民プールについては、緊急修繕等による管理費用が嵩んでいる状況です。今後、老朽化が進行した施設が次々と更新時期を迎える一方で、財源不足など市が抱える課題も顕著であり、投資的経費の確保が非常に厳しい状況にあります。
厳しい財政状況の下でも、本市の社会体育施設が、将来にわたって利用者の安全・安心を最優先に、その求められる機能を十分に果たしていくためには、より一層、効率的、効果的な運営への転換や再編整備が必要です。

(単位:千円)

実施中の取組及び予定する事項		決算(見込額)		予算額	見込額				
		H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
政策調整会議 【令和2年10月13日】									
政策決定会議 【令和2年10月20日】									
パブリックコメント 【令和2年11月中】									
財源内訳	国費								
	府費								
	起債								
	一般財源								
	その他								
事業費		計			R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
		0			0	0	0	0	0

★当該事項に関連する人員増の必要性※

人員増の必要性				R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
有		無		0	0	0	0	0

★取組の効果を表す指標

指標名						目標値				
						H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度
①										
②										

※事業費及び人員を確約するものではない。